

発行元 (一社)京都手をつなぐ育成会

京都市右京区西京極新明町 38 番地 3

Tel.:075-322-1070 Fax.:075-322-1071

ホームページ <http://kyotoikuseikai.or.jp/>

メール: jimu@kyotoikuseikai.or.jp

第30回京都市障害児・者福祉研修大会の開催について(3)

9月号、10月号に引き続き、11月26日(土)に開催します福祉研修大会のご案内をいたします。今月は、当日ご講演いただく内容をご紹介します。

久保厚子さんには、「中央情勢報告」をしていただきます。前回もお伝えしたように、久保さんは社会保障審議会障害者部会の委員を務めておられます。この障害者部会で議論がなされ、様々な制度がつくられています。つまり、私たちの思いを直接、中央に届けていただける貴重な存在です。

「中央情勢報告」は、他の大会では通常、30分程度にまとめられていますが、今回の講演では、1時間ご用意していますので、しっかりとお話が聞けると思えます。お話の内容は、現在、国で取り組まれている障害者総合支援法の見直しの状況が中心となりますが、範囲が広すぎてとても全てをお伝えいただくことは困難であると思われま。

そこで、身近な課題である療育手帳の在り方、グループホームの在り方、利用が進まない成年後見制度などについてのお話をされると思えます。

又村あおいさんには、「障害のある人が地域で暮らしていくために知っておくべき制度」というテーマで1時間程度お話をしていただきます。

このテーマは、当会からお願いしたのですが、又村さんは、このテーマに沿って、50ページにも及ぶ独自の資料をお作りいただきました。

ただ、「知っておきたい制度」は、あまりにも広範に及ぶため、今回は、「住まい」をテーマに絞ってお話いただくとのことです。

又村さんは、障害保健福祉施策の歴史は、突き詰めていけば、「当たり前」に『住まい方』を選べる社会の実現にあるのではないかと言われます。

「住まい」を考えるに、まず、基本的な方針である、権利条約で「住まい」はどのように規定されているのか、次に障害者の「住まい」の実態、そしてそれぞれの「住まい」を支えるサービスにはどのようなものがあるのか、最後に先進地の事例をご紹介します。かなり密度の濃い話になりそうですが、しっかり学びたいと思えます。

今回の福祉研修大会は時間の都合により、お二人のお話を聞くことに主眼をおいているため、質問や意見交換の時間はとれませんが、終了後に参加者の皆様からのアンケートを回収し、質問やご意見を取りまとめてお二人にお送りし、後日、回答していただく予定をしています。

皆様からのご意見・ご質問をよろしくお願いいたします。

研修部会報告……………⑧	学びのコーナー……………⑤	福祉研修大会……………①
活動計画……………⑧	育成会のあゆみ……………⑥	近畿大会報告……………②
相談件数……………⑧	法律講座報告……………⑦	組織だより……………③
支部だより……………⑧	賛助会員名簿……………⑦	青年学級だより……………④

第61回近畿知的障がい者福祉大会

テーマ「知的・発達障がいのある人の地域医療の充実にむけて」

～ コロナ禍でのリスタート 2022 ～

10月23日（日）、標記大会が奈良県橿原市の奈良県社会福祉総合センターで行われ、京都から12名（内、本人4名）が参加しました。コロナ禍ではありますが、地元奈良を中心に約240名の参加者がありました(写真1)。



(写真1)

大会の運営は、会場への参加とリモート、YouTubeでの期間配信など、いわゆる、ハイブリッド形式で行われました。コロナ以降、こうした会議形式が飛躍的に増え、今後も主役となりそうです。

式典(写真2)のあと、全国手をつなぐ育成会連合会(全育連)の久保会長から「中央情勢」が報告され、障害者総合支援法・児童福祉法の法改正の内容が固まったこと、施行は、令和6年4月に報酬改定とダブルで行われる見通しであることが報告されました。個別事案では、療育手帳の在り方、グループホームの在り方、利用が進まない成年後見制度などについて、役に立つ報告が数多くありましたが、全容は11月26日(土)の京都市知的障害児・者福祉研修大会でお聞きください。是非ご参加を！

その後、奈良県手をつなぐ育成会から施設におけるコロナ感染の状況と取り組みが詳しく報告されました。コロナ禍での施設運営の困難さを改めて教えていただきました。



(写真2)

本人大会のテーマは、「コロナ禍で変わったこと、思ったことを話そう」です。まず、各育成会から寄せられた本人活動の写真を編集されたビデオが流され、京都からは青年学級の取り組みが紹介されました。

その後、トークに入りましたが、京都から参加した3名の方が、臆せず、積極的に発言されていたのが目を引きました。

(事務局 植田)



✎✎✎ 本人大会に参加された方の感想です ✎✎✎

- 今日、大会に参加してみんなの前でお話しするのも少し言いにくいこともありました。親がいなくなっても、天理教の教会で過ごしています。
- きんき私達の活動の動画で、旅行やスポーツ、行事などありまして、うらやましいなと思いました。トークでは少しきんちょうしましたが、コロナのことを話し、シールはってもらって嬉しかったし、楽しかったです。
- 皆の話がきけて嬉しかった。

組織だより 令和4年11月号

心地よい季節到来と思う間もなく、初冬の寒さに会員の皆様のご体調はいかがでしょう？
コロナ禍で、2年半におよぶ空白の期間がありましたが、各委員会の皆様も試行錯誤を繰り返しながら精一杯の力を注いでくださり、次々と行事が開催されています。

京都手をつなぐ育成会の皆様の前向きな姿勢に心が打たれ、その熱意に感謝の気持ちとともに、やる気がわいてきます！

それでは10月に出席した会議の報告をします。

★令和4年度第4回「近畿手をつなぐ育成会連合会役員会」

10月3日（月）、リモートで会議が行われました。

- ・第7回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会福井大会・・・11月20日（日）開催
- ・第61回近畿知的障がい者福祉大会（奈良県）・・・10月23日（日）開催

などについて、内容の説明や、参加の呼びかけがありました。

*京都手をつなぐ育成会からは、第30回京都市知的障害児・者福祉研修大会に久保会長、又村常任理事の参加をいただき、11月26日（土）に開催させていただくことなどを発言しました。

★第22回全国障害者スポーツ大会・京都市選手団結団式

10月7日（金）、京都市から出場される選手22名、役員22名の方の結団式が京都市障害者スポーツセンターで行われました。

本年は栃木で開催。「いちご一会とちぎ大会」、10月29日（土）～31日（月）

★京都市みやこユニバーサルデザイン審議会

10月17日（月）、審議会の中の普及推進部会開催

テーマは「ユニバーサルデザインの認知度向上」で、昨年度に委員が提出したレポートから、活発な議論が交わされました。

育成会からは知的や発達障害者の電車やバス車内での行動についての理解を求めました。
(会長 上田克枝)

★2022 ほぼえみ広場（10月30日 KBSホール）

京都市の主催により梅小路公園で行われてきた「ほぼえみ広場」が廃止され、今年から京都身体障害者団体連合会の主催で、新たな「ほぼえみ広場」が開催されました。

コロナ禍のため、飲食や出展ブースは縮小されましたが、各団体から出された動画が上映され、育成会からは「よさこい踊り隊」の活動が紹介されました。 (副会長 尾高紀子)

〜〜10月青年学級だより〜〜

第1220回・第1221回 本人楽しみのボウリング大会（スポーツ大会）を10月2日・16日にMKボウル上賀茂で開催しました。付き添い指導員を含む総勢105名（前半/後半）の参加です。

本年度は、入賞賞品を増やし1位・2位・3位・10位・20位・ブービー賞の6名（男女別計12名）を入賞者としました。



《前半・後半の入賞者は下記の24名》

前半組【男子】1位 井上真実・2位 内田達也・3位 尾高伸夫・10位 篠原利忠・20位 木崎博史・ブービー賞 外川大二郎【女子】1位 木下春美・2位 小野木彩乃・3位 岡村有紀子・10位 木下桂子・20位 木山知子・ブービー賞 上田仁美

後半組【男子】1位 山口良太・2位 西森一生・3位 中山二郎・10位 別府茂・20位 安田良行・ブービー賞 西口知寛【女子】1位 村田京子・2位 水島真由美・3位 羽山優子・山路千恵・20位 八田佳子・ブービー賞 八杉知佐、以上の24名に指導の先生が各賞品を手渡されました。

（敬称は省略させていただきました）

皆さん 入賞おめでとう!!!

“お知らせ”

クリスマス ティーパーティーを開催します

12月4日・18日（日）PM1：30～

参加費 100円

申込締切 11月23日（水・祝）

申し込み先 ひかり学園事務局

TEL/FAX 761-2285

二部制ではありますが、本年度最終の日曜教室

《クリスマスケーキ・プレゼント有り》

ご父兄で青年学級の見学をしてみませんか？

（青年学級担当理事 小谷・上田）



プログラム

- ① 13:35～ キャンドルサービス
- ② 13:45～ はじめのことば
- ③ 13:50～ お客様のようかい
- ④ 14:00～ 育成会会長挨拶
- ⑤ 14:05～ かんぱいのあとケーキをいただきます
- ⑥ 14:20～ マジックショー
- ⑦ 15:20～ プレゼントシャワー（サンタさん登場）
- ⑧ 15:40～ 終わりの言葉

Happy New Year
2022/12/4・18

全国手をつなぐ育成会発行の「手をつなぐ」が、800号を迎えました。現在、12名の編集委員の方々が、1箇月に1回、50ページの冊子を作り上げています。

「手をつなぐ」800号記念特別号では、編集委員を務められたことのある、野澤和弘さん、福岡寿さん、それと現在の編集委員の西村玲子さん、村上和子さんの4人で対談されていますので少し紹介します。

野澤和弘さんは、現在の「手をつなぐ」について、「障害者団体の機関誌としては出色です。社会に出しても耐えられるものをつくろうという矜持を感じます。また『誰のための媒体なのか』という意思を持っていること。強制不妊手術の問題の時も旧優生保護法にどう関わってきたのか、加害的な要素も含めて総括して発信した。リスクを取ってでも言うべきことを言うという姿勢に多くの批判もあるでしょうが、媒体としては力になっていると思います」とジャーナリスト出身らしい評価をされています。

西村玲子さんは、「編集会議で議論されていることと、親どうして話をしていることとの間にはギャップを感じるがあります」と述べられています。

「ギャップを感じる」という点が気になる場所ですが、編集者としては、中央の動向など大きな問題に向きがちになり、一方、親は我が子の身近な問題に関心を持っておられる、ということでしょうか。双方の意向を冊子にまとめるのは途方もなく難しいことだと思います。

こうした編集者の苦勞にも関わらず「手をつなぐ」の発行部数はこの8年間で2割も減少しています。情報のデジタル化の流れは今後も続くと考えられますが、福岡さんは「手をつなぐ」の今後の展望について、「手をつなぐ」の在り方だけの議論をしても意味がなく、運動体として視野を広げていくなかで、その発信母体として「手をつなぐ」を位置付けていかなければならない」と運動の活性化が重要と述べられておられます。

「育成ニュース」や「機関紙いくせい」についてもその紙面をどうするのかだけではなく、運動体として何に軸を置くのか、それを定めることが必要なのだということでしょう。

「手をつなぐ」の副題は「元気の出る情報・交流誌」です。機関紙は、会員の皆様からの投稿で成り立ちます。皆様からの投稿を心よりお待ちしております。



第46回親睦大運動会が、無事終了しました

11月6日(日)島津アリーナ京都にて、3年ぶりに開催されました。

皆さん気持ちよく体を動かされたのではないのでしょうか？

【支部対抗競技結果】

★聖火リレー 1位 東部支部 2位 伏見支部 3位 北部支部

★メディスニングボール 1位 東部支部 2位 伏見支部 3位 西部支部

指導員の先生方、工房職員の皆様、役員の皆様、お世話になりありがとうございました。



- 機関誌「いくせい」が伝えてきたこと -

今回は、第12回手をつなぐ親の会全国大会の参加者からの報告をお伝えします。今では60回を超える大会となりましたが、その初期の頃の様子伝わってきます。報告者は弥栄成人部の女性部員です。

この全国大会には、法務、文部、厚生、労働の各大臣が臨席されています。

席上、「政治や行政の片隅におかれている子等に限りない愛情を注ぐ一人の母親が、子等の代わり叫ぶ姿」が報告されています。

その後、高知からの参加者の言葉が続きます。この方は、戦死された夫との間に授かった二十八歳になる精薄児の男の子とともに、戦後の混乱を乗り越えてきた体験談を話されます。

この話を聞いた小林厚生大臣がハンカチで涙を拭きながら聞いておられたとの報告があります。

報告では、小林大臣の祝辞の要旨が紹介されています。

多年の皆様の要望に遅ればせながら、答えられるようになってきた。親たちの社会的な啓蒙の力を立派だと思う。

精薄児問題は社会及び国の問題として取り上げるべきと思う。先般静岡の会で身障者にある手当がありながら、なぜ私達にはないのかと問われそれ以来、福祉年金を考えて三十九年度の予算編成にあたり、特別立法でも次の国会に出すべく、1,800円の扶養手当の予算と法律を用意している。

大蔵省の壁はあるが、自分は必ず達成させる。

親たちは、手をつなぎ、団結して社会を動かす要望を着実に政治に反映されんことを（以下略）

注) 1,800円は一人当たりと推測されます。

全国大会終了後、参加者は各県1名限定で、各省庁、関係議員への陳情に向かいます。各県1名限定のなか、京都だけは3名の参加者全員が参加させていただいたとあります。ちなみにこの3名は、初対面であったそうですが、3日間で10年来の知己のごとくの関係になられたそうです。

最後に次の言葉を残されています。

今こそ、私達一人一人が強くなり、団結することが親の責任でもあり最善の近道なのです。



第2回弁護士法律講座の報告

日時 令和4年10月5日(水) 10:00~12:00
場所 京都手をつなぐ育成会本部3階会議室
参加人数 18名
テーマ 「生前贈与・遺産相続」
～家族に知的障害者がいる場合～
講師 京都小松法律事務所 小松 礼人 弁護士



相続とは、人の死によってその財産上の権利義務を他の人が包括的に継承することで、相続に関するトラブルを防ぐために基本的なルールが定められています。

- ・誰が相続人となるか。
- ・どのような遺産があるか。
- ・遺産の分け方はどうするか。

この3点について基本的なことをお話させていただきました。

この中で揉め事が起きやすい遺産の分け方については、

- ①遺言があればそれに従う。
 - ②遺言がなければ相続人で話し合っ決めて。その指針として法定相続分の定めがある。
 - ③話し合いで解決しない場合は、家庭裁判所において調停もしくは審判となる。
- ①から③の順で遺産分割協議が進んでいきます。

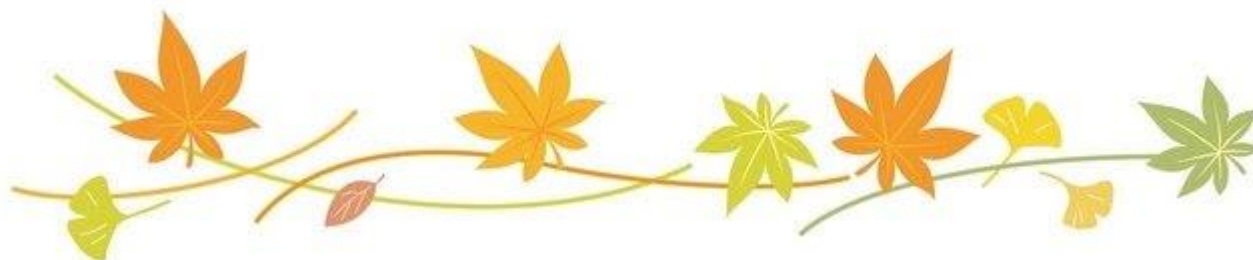
生前贈与については贈与税が関係するので、よく考えて行うことと、信託も一つの方法です。とのことでした。

★小松弁護士は、遺言があれば、本人の意思を伝える事ができますし、揉め事も起きにくいです。

遺産相続において知的障害の有無は大きく影響することはなく、遺産を受け取った後の財産管理をどうするか考えておくことが大切です、と話されました。

参加者からは、家族でよく話し合っ遺言書を残したい。生前贈与についてもっと詳しく聞きたいと感想がありました。

(相談担当理事 杉本・日根野)



賛助会員にお申込み頂き心より感謝申し上げます (敬称略)

吉田 裕志

研修部会報告

日時 令和4年10月25日(火) 13時～14時30分
 テーマ 「親の役目・親の果たす役割とは何だろうか？」



今回の研修委員会で気がついた今後の課題

1. 障害のある本人の年齢によって、親の思いや悩みが違うのではないかな？
2. 障害の状態（できる事の違い）によって、将来像が違うのではないかな？
3. 家族の状況や環境によって、将来の生活の場所が決まってくるのかな？

など、話し合いが進むほどに、一人ひとりにピッタリな答えを出すことは難しく、今後年齢別や障害の特性別の「グループ」に分かれて、その中で意見交換ができるような研修会を持つのも一つの方法である、との意見が出ました。

そして、みんなで繋がる研修会になるように、今後の研修委員会の進め方を検討することになりました。
 （研修担当理事 松若・広畑）

【12月 活動計画】

- 3 役員例会
- 4 青年学級（ティーパーティー）
- 7 みやこ・まいこ隊実演
（京都市立西陵中学校）
- 8 専門家による講座
コールいくせい練習
- 10 日帰りバスツアー（神戸）
- 13 文化委員会
- 14 支部長会
- 15 法律相談
- 18 青年学級（ティーパーティー）
- 22 コールいくせい練習

【支部だより】

- 北 12/11 ふれあいクリスマス会
（京都教育大学附属京都小中学校）
- 上京 10/16 アートのつどい（西陣会 遊戯室）
- 中京 12/4 餅つき（中京区福祉センター）
- 南 11/27 日帰りバスツアー（淡路島）
12/25 クリスマス会（ボランティアセンター）
- 東山 12/6 おしゃべりカフェ晴ればれ
（やすらぎ・ふれあい館）

【無料電話・メール相談等本部受付件数】

《10月相談件数》

療育 15件 施設 3件 その他 3件

令和4年の法律相談 9:30～12:30

12月15日(木) 担当弁護士 小田 宏之 氏

当番の相談員もいます。お気軽にお越しください。



知的障がい・発達障がい、ダウン症、てんかんのある方、ご家族に

病気やケガが絶えない…
成人病や生活習慣病に備えたい…
他人の物を壊してしまった…
虐待・雇用現場での差別など
人に相談しにくい悩みがある…

障がいのある方とご家族へ

ぜんちの **あんしん保険**

- ・最高日額1万円
- ・個人賠償責任補償
- ・弁護士費用補償
- ・安心サポート

特別支援教育を必要とされている方へ

ぜんちの **こども傷害保険**

- ・入院・通院を日額保障
- ・個人賠償責任補償
- ・トラブルに巻き込まれた際、弁護士がサポート

このようなお困り事に心当たりがある方に…

詳しい資料のご請求・お問合せはこちら

ぜんち共済株式会社
 関東財務局長(少額短期保険)第14号
 〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5 九段北325ビル4階
 【2020年1月作成 19-TC06633】

0120-322-150

平日9時～17時/土日・祝日・年末年始を除く
 URL: <http://www.z-kyosai.com/>

※ご契約にあたっては必ず「ご契約に際しての重要事項」「約款」東京海上日動の「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。

取扱代理店(資料請求・その他お問い合わせ)

株式会社 京都インシュアランス

〒604-8141 京都市中京区御薬師通高倉西入原正町334日興ビル2階
 京都フィナンシャルパーク5内
 TEL:075-253-6848 FAX:075-253-6846 <https://www.kyoto-insurance.com/>